

中井芸術監督の指揮で歓迎演奏を行う
出雲ジュニアフィルオーケストラは6月
7日、出雲市今市町北本町のサン・ア
ビリティーズいずも



出雲芸術アカデミー（桑
原雅次学長）のジュニ
ア・ユース、キッズ講座の
新入生歓迎会が6月7
日、出雲市今市町北本町
のサン・アビリティーズい
ずもでありました。先輩
受講生のオーケストラ
やコーラスの歓迎演奏に
新入生41人が目を輝かせ
て聴き入っていました。
今年の新生は、ジュ
ニアフィル・オーケスト
ラ（小学生・高校生対象）
に28人、ジュニアフィル・
コーラス（小学4年生・28
歳対象）に6人、キッズ
音楽入門講座（小学1・

新入生41人 目輝かせる

出雲芸術アカデミー ジュニアフィル歓迎演奏会

3年生対象）に7人の計41人。これで全受講生は134人となりました（6月1日現在）。
この日の歓迎会では、新入生とその家族を前に、中井章徳芸術監督指揮のジュニアフィル・オーケストラがコーラル「我らと共にあれ」（メルヒオール・ヴルビウス作曲）など4曲を、ジュニアフィル・コーラスが「きんいろの太陽がもえる朝に」（やなせたかし作詞、木下牧子作曲）など2曲を披露。新入生の中には、体を動かしながらノリノリで先輩たちの演奏に聴き入る姿が見られました。
その後、新入生も一緒に「手のひらを太陽に」（やなせたかし作詞、いずみたく作曲）などを歌って会を盛り上げました。
ジュニアフィル・オーケストラのオーボエ部門を受講する五島さくらさん（10）は、アニメ「響け！ユーフォニアム」を見て、オーボエに興味を持ったそうです。「ドレミから勉強するのが楽しみ」と話していました。サクソフオン部門を受講する平井悠貴君（12）は、昨年の秋、同フィルの特別講座を体験したのがきっかけ。「楽譜を読むのが苦手なので、それを克服したい」と意欲を見せています。



原石鼎をたたえる句碑と顕彰碑

放校（※1）
かにしたため
し、学業を疎
かにしたため
放校（※1）

導や全体をとりまとめる人のこと。
（※2）主筆……団体の中心になって指
導や全体をとりまとめる人のこと。
（※1）放校……問題を起こした生徒を
学校から追い出す処分のこと。
（※2）主筆……団体の中心になって指
導や全体をとりまとめる人のこと。

原石鼎（本名・鼎）は大正から昭和初
期の俳人で、「山風にあらはれ見ゆる 桜
んぼ」など、自然の美しさや人間の感情を
表現することに長けた句を作り、全国で
注目されました。
石鼎は、簸川郡塩冶村（現在の出雲市
塩冶町）の医者の三男として生まれ、県立
簸川中学校（現在の県立大社高校）在学
中に俳句を始めました。家業のため進学
した京都医学
専門学校（現
在の京都府立
医科大学）で
も句会を起こ
すなど熱中
し、学業を疎
かにしたため
放校（※1）

されたという逸話があります。
俳句雑誌「ホトトギス」に投句した句
が俳人・高浜虚子に認められ、ホトトギス
社に入社して2年ほど在籍しました。そ
の後には俳句結社・鹿火屋を主宰（※2）。
1923（大正12）年に起きた関東大震災
以降は、病に伏せながらも後進の指導を続
け、亡くなるまで多くの優れた句を残しま
した。
2021（令和3）年、石鼎の句碑と
顕彰碑が、出身地の塩冶町・塩冶揚公園
に建立され、地元住民が郷土の偉人とし
てしのんでいます。

原石鼎 (1886 ~ 1951)

大正から昭和期に活躍した俳人



1,933（昭和8）年、48歳の
原石鼎（出雲文化伝承館提供）

シリーズ 郷土の偉人

31



嘉村 医院

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	×
13:30~15:30(往診)	○	○	○	×	○	○	×
16:00~18:00	○	○	○	×	○	×	×

糖尿病学会認定専門医 嘉村 正徳

出雲市上島町1025

TEL (0853) 48-0666 FAX48-9022

わたなべ こども クリニック
レディース
小児科/渡辺 浩・婦人科/渡辺 祐実

出雲市武志町836-3(北陽小となり) TEL (0853) 30-8020

～ 病児保育室 ひよこ 併設 ～
TEL (0853) 25-8104

医療法人
つむらファミリークリニック
くみ小児科
小児科 内科
院長 津村 弘人
副院長 津村 久美
出雲市渡橋町858番地の1
TEL (0853) 23-9393
TEL (0853) 23-9399 予約専用
予約サイトのURL http://ssc.doctorqube.com/kumifamily/